

校長室だより No 5

ミニ集会から学校グランドデザインへ

2024年 7月12日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

6月29日の授業参観から10日ほど時間が過ぎてしまいました。参観日はいかがだったでしょうか？参観日の感想をHPに公開しましたのでご覧ください。私は、普段の授業の様子を見ていただき、見るだけではなく参加していただき、子供たちと親と一緒に学ぶという時間が展開していくことを期待しています。

29日の午後は、保護者と地域の方と教職員が、普段ベースで語り合う教育ミニ集会を行いました。教職員26名、保護者・地域の方は当日参加も含めて35名の61名でのワークショップを行うことができました。ファシリテーターはLink&Createの福島様にお越し、コメンテーターとして敬愛大学の阿部先生に最後をまとめていただきました。

教育ミニ集会では、富勢小学校の子供たちに付けたい力を出し合い、その力を育む手段を出し合い、最後は15グループごとに、目指す姿を出し合いました。つけたい力は27の力が出ました。大変充実した集会となりました。普段じっくりと話す機会がないため、価値観を出し合い共有できたことは有意義だったといった感想をいただきました。集会後、7月に入ってから出されたご意見をまとめ、学校経営グランドデザインに反映していくプロジェクトチームを手上げ方式で募ったところ8名の教員が手を挙げて、現在具体策を練っています。

7月前半のプロジェクトでの話し合いの結果、つけたい力については、「挑戦し、やりぬこうとする子」という目指す姿で決まりました。現在の富勢小の子ども課題として「何かをやるとうる心や行動」と「やり始めた後に、失敗や困難ですぐに諦めがちな点」が見られ、ミニ集会で出された27の力は、「挑戦してやりぬこうとする」行動を通して育まれるのではないかと、この理由から決まりました。このようにして、学校づくり、学習環境づくりを、保護者・地域・教職員が一緒になって創っていくことが、今の学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程（カリキュラム）」の具体化になります。

8月21日には、本校を会場にして富勢地区4校の教員と保護者と地域と今回は子供たち、小6年生と中学生の希望者を入れて、富勢中学校の卒業時に目指す姿を決めていきます。ぜひご参加ください。8月21日 午前9時半から11時半の2時間です。